

最近では軽自動車の売れ行きが好調で、新車として売られるクルマの約40%を占める。その中でも特に販売比率を拡大させているのが、ハイトワゴンと呼ばれる背の高い車種だ。背の高い軽自動車の能力を最大限度まで高めたのが、ダイハツから発売されたウェイクといえるだろう。全高は1835mmで、軽乗用車では最も背が高い。室内高は1455mmだから、これも軽自動車のナンバーワンになる。車内は驚くほど広い。このメリットを活用すべく、シートアレンジも多彩だ。後席を小さく畳むと大容量の荷室に変更できて、汚れも落としやすい。遊びのツールとして、とても便利に使える。低燃費技術も先進的で、ノーマルエンジン車はエコカー減税が免税になった。ターボも減税対象に入る。衝突の回避を支援するスマートアシストも用意され、経済性や安全性でも注目される。

日刊自動車新聞

発行所
日刊自動車新聞社
東京都港区芝大門1丁目10番10号
芝大門センタービル4階
電話 東京 (03) 5777-2314 代

ダイハツ
新型
ウェイク
特集号

驚きのパッキングアレンジ!

レジャーに最適、新ジャンル軽自動車 WAKE DEBUT

ウェイク登場!



イステクノロジーで
NAエンジンは免税

運転しやすい
見晴らしのよさ

軽ナンバーワンの室内高!

人気のスマートアシストは全車に設定



スマートアシスト

万一の時に自動ブレーキを作動させるスマートアシストは、すべてのグレードに装着車を設定した。グレード名の末尾に「SA」が付く仕様には、スマートアシストが備わる。スマートアシストは、時速4~30kmで走行中に衝突の危険が高まると、ブザーの音と同時に緊急ブレーキを作動。衝突を回避し、被害を軽減させる。また障害物に向けてアクセルを強く踏み込むと、ペダルの誤操作と判断してエンジン出力を絞る機能も採用した。プラス4万3200円で、大きな安心が得られる。



広い居住空間と荷室を備えたウェイクは、レジャーでの使い勝手が優れている。この機能をサポートする装備も多彩に用意した。オプションのレジャーベースバックを装着すると、荷室のユーティリティフック、荷室床面フックなどが備わる。これを利用して、車内に棚を吊ったり、ネットを取り付けたりすることが可能だ。さらにディーラーオプションでも各種のパイプなどが用意され、荷室の整理に役立つ。寝かせたシートの上に被せるジョイントクッション、カーテン、バックアタープなど、遊びや車中泊に役立つグッズも豊富にそろそろ。ディーラーオプションカタログを見ただけで、楽しい気分になれる。

レジャーで徹底的に「使える」装備やオプション用品をご用意!



駆動方式	2WD				4WD		
	グレード	"SA"	"SA"	"SA"	"SA"	"SA"	"SA"
全長×全幅×全高(mm)					3,395×1,475×1,835		
室内(長×幅×高mm)					2,215×1,345×1,455		
ホイールベース(mm)					2,455		
トレッド(前 mm)					1,305		
(後 mm)					1,295		
最低地上高(mm)					140		
車両重量(kg)	1,020	1,010	1,000	990	1,060	1,050	1,040
JCO8モード燃費(km/ℓ)	23.8			25.4		23.2	24.6
最小回転半径(m)	4.7		4.4		4.7		4.4
乗車定員(名)	4						
エンジン型式	KF型						
種類	水冷直列3気筒 12バルブDOHC インタークーラーターボ機構		水冷直列3気筒 12バルブDOHC横置		水冷直列3気筒 12バルブDOHC インタークーラーターボ機構		
総排気量(cc)	658						
最高出力(kW<PS>/rpm)	47<64>/6,400		38<52>/6,800		47<64>/6,400		
最大トルク(N・m<kg・m>/rpm)	92<9.4>/3,200		60<6.1>/5,200		92<9.4>/3,200		
使用燃料およびタンク容量(ℓ)	無鉛レギュラーガソリン・36						
トランスミッション	CVT				フルタイム4WD(4輪駆動)		
駆動方式	FF(前2輪駆動)				フルタイム4WD(4輪駆動)		
ステアリング形式	ラック&ピニオン						
ブレーキ形式 前/後	ベンチレーテッドディスク/パーティング・トレイリング						
サスペンション 前	マクファーソン・ストラット式コイルスプリング						
後	トーションビーム式コイルスプリング				3リンク式コイルスプリング		
タイヤ	165/55R15 75V		155/65R14 75S		165/55R15 75V		155/65R14 75S

ウェイク主要諸元表

*オプション装着により、車両重量などが変わります。詳しくは販売店にお問い合わせください。



WAKE





LEDヘッドランプ(ロービーム) フロントLED クリアランスランプ



WAKUWAKU BOX

エクステリアデザイン

全高が1835mmに達する背の高いボディは、デザインも楽しい感覚で仕上げた。コンセプトは「ワクワクボックス」。室内空間を最大限度まで広げながら、ボディパネルに張りを持たせてボリューム感を強めている。軽自動車とは思えない、コンパクトカーを超える存在感がある。そしてLEDヘッドランプを全車に標準装着。クリアランスランプ(車幅灯)にもLEDを採用し、ヘッドランプを囲むように配置した。このあたりのデザインもカッコイイ。フロントグリルはメッシュ風の仕上がりで、カラードバンパーは、下側にシルバーの装飾をはめ込んだ2トーンデザイン。ルーフをホワイトにペイントした2トーンボディカラーも用意され、まさに「ワクワクボックス」だ。



オプション活用でさらにオシャレに



ミニバン並みの1,387*mmのアイポイント

乗降フロア高365mm

室内高1,455mm

*JISD(日本人男性平均170cm)での寸法となります。

WAKE

高いアイポイントで、ミニバン・SUVなみの見晴らしのよさ

パフォーマンス

全幅が1475mmの軽自動車でありながら、全高は1835mmに達する。ウェイクのボディを真正面から見れば縦長で、「走行安定性はどうか?」と不安を感じる読者諸兄もおられるだろう。開発段階でも走行安定性は重要な課題とされ、足まわりを念に造り込んだ。ショックアブソーバーにリバウンドスプリングを内蔵し、ボディの傾き方を制御するスタビライザーを大径にしている。さらにドアミラーやテールランプの部分には、空力フィン装着。ボディの側面を流れる空気に小さな渦を作り、ボディを左右から抑えることで走行安定性を高めた。これらの配慮によって、ウェイクは背の高い軽自動車でありながら、走りに安心感が伴う。操舵に対する反応も鈍くはなく、ムーヴやタントと同様、自然な感覚で運転できる。



空力フィン(ミラー部) 空力フィン(リアコンビネーションランプ部) 空力性能の向上

スペースデザイン

ウェイクの一番の特徴は、全高を1835mm、室内高を1455mmに設定することで、軽乗用車では最大の室内空間を備えることだ。この広さが生み出すメリットとして、まずは優れた居住性がある。身長170cmの大人4名が乗車して、後席に座る同乗者の膝先空間は握りコブシ4つ分。3ナンバーサイズのLサイズセタンでも2~3つ分だから、後席の前後方向の広さは、乗用車全体で見ても最大級になる。後席の同乗者が足をゆったりと伸ばし、長距離ドライブを快適に楽しめる。さらに頭上の空間も驚くほど広く、居住性は抜群だ。ドライバーの視線は路面から1387mmの高さに設定され、乗員に不安を感じさせない範囲で見晴らしがよい。外観が直線基調だから、斜め後方や真後ろの視界も良好だ。最小回転半径は14インチタイヤ装着車が4.4m、15インチが4.7mに収まって小回りが利き、広い室内と運転のしやすさを両立させた。

腰に負担をかけずに、荷物の積み降ろしができます。

軽最大の室内空間を確保

アレンジ豊富な広い室内、多彩な趣味、日常生活、業務用にもどんな用途にでも使用可能

ラゲージスペース

積載性は抜群だ。後席は床面へ落とし込むように小さく畳めるから、大容量の荷室に変更できる。助手席の折り畳みも可能で、座面を持ち上げたら背もたれを前に倒すと、畳んだ後席とほぼ同じ高さでフラットな空間が拡大する。長尺物を積み時め便利だ。荷室の床は防水で、シートの生地には撥水加工を施した。このため屋外で使った遊びのグッズも気軽に積める。荷室高の余裕と相まって、自転車も積載しやすい。後席には左右独立式のスライド機能が備わり、240mmの前後調節を可能にした。後席にチャイルドシートを装着した時は、前に寄せると便利。親子の間隔が近づき、なおかつ車内の後端にベビーカーなどを積みやすい。荷室の床下には大容量のアンダーボックスを装着して、荷物の整理がしやすい。上下2段階調節式のデッキボードも用意され、荷室を棚のようにアレンジすることも可能だ。

ラゲージ アンダーボックス一体モード



ラゲージ 二段積みモード

レジャーベースバック 上下2段階調節式デッキボード (G'SA、Gは標準装備)



左右分割ロングスライドシート(リア)

25.4 km/ℓ 低燃費

エコロジー&セーフティ

新開発のダイハツ車とあって、ウェイクは先進の環境技術を投入している。エンジンの燃焼効率を改善し、各部の摩擦損失を抑えた。アイドリングストップもすべてのグレードに装着している。これらの相乗効果により、JC08モード燃費は2WD(前輪駆動)のノーマルエンジン仕様で25.4km/ℓと良好だ。エコカー減税も免税になる。ターボを装着したグレードも23.8km/ℓで、これもエコカー減税に該当。購入時には自動車取得税が80%、自動車重量税が75%の減税になる。安全装備の充実にも注目したい。横滑り防止装置を含んだVSC&TRCは、すべてのグレードに標準装着されている。



ブルー 通常の状態 燃費が良い状態 グリーン

マルチインフォメーションディスプレイ&エコドライブアシスト照明「見えるエコ」を実感!

インテリア

内装は新しい軽自動車らしく上質な印象。GやXのメーターは自発光式で、視認性と質感を高めた。シルバーの装飾もオシャレだ。実用性も優れ、メーターはインパネ中央の高く奥まった位置に装着した。前方から視線をあまり動かさずにチェックできる。シフトレバーはインパネの下側に装着。この左側にはエアコンのスイッチが機能的に配置され、操作性がよい。前後席ともにフラットなベンチシートだから、左右方向の移動もしやすい。駐車場所によっては、ドライバーが左側のドアから乗り降りできる。収納設備も充実させた。助手席の前側を見ると、グローブボックスの上部に大型のインパネトレイが装着される。助手席の座面を持ち上げると、その下には大容量のアンダーボックスも備わり、シューズなどを収納できる。このボックスは取り出して丸洗いできるので便利だ。このほかポケット類は、インパネ中央の下側、運転席の座面の前側などに、豊富に装着されている。



立てかけたボードをがっちり固定できる

2人でサイクリング! タイヤはそのまま自転車2台を積載

家族4人でキャンプ 大きな荷物から小さな荷物までスッキリ収納



運転席シート クッションポケット

インパネ アッパーボックス(運転席)

8インチメモリーナビと後席モニター イメージ

大型インパネトレイ(助手席) [G、G'SAはマッド付]

インパネセンタートレイ [G、G'SAはマッド付]

シートベルト締め忘れ警告灯(運転席/助手席/後席)・警告音(運転席/助手席)

8インチメモリーナビ(WAKE専用)

こだわりの収納力

スライドドアなど快適装備

設計の新しい軽自動車とあって、快適装備はとても豊富だ。L以上のグレードであれば、左側スライドドアの電動機能、エンジンの始動や停止をスイッチで行えるキーフリーシステム&プッシュボタンスタート、操作性の優れたエアコンのオート機能、快適性を高めるUVカットガラスなどが標準装着される。さらに外装では、前述のようにLEDヘッドランプが全車に備わる。ターボを搭載したG以上のグレードには、アルミホイールやフォグランプもセットした。



LEDフォグランプキット サイドアンダーミラー(助手席)

スイッチひとつで、開く、閉まる。

ENGINEER'S VOICE

ダイハツ工業 チーフエンジニア 中島雅之さん

ウェイクは「視界の良さ」と「荷室の広さ」にこだわって開発され、新しい市場を築く軽自動車だと思います。企画段階では「45の使用シーン」を想定したことが特徴です。それぞれのシーンで、最適なクルマになれるように開発しました。特にレジャー人口の多い6つのシーン(キャンプ/釣り/サーフィン/サイクリング/スキー&スノーボード/登山)については、プロフェッショナルの方たちと開発段階からコミュニケーションを図りました。その中でレジャー使用時の利便性を向上させたり、使いやすいディーラーオプションを用意したりといったアイデアを広げています。そしてお客様にも、さまざまな工夫を楽しんでいただきたいですね。オンリーワンのウェイクとしてご愛用いただければ、幸いです。

